

花桐さん、山口さんに講演奨励賞

電子情報通信学会九州支部

有明高専

研究内容や発表の仕方評価

大牟田市東萩尾町の有明工業高等学校電子情報工学科五年の花桐詩瑞香(しずか)さん(20)と専攻科二年生産情報システム工学専攻の山口大輝さん(22)は平成二十三年度第十九回電子情報通信学会九州支部学生会講演会で論文を発表し、講演奨励賞を受賞した。

同講演会は昨年九月開かれた。参加総数は二十八日、佐賀大学で三百十六人で、百七十



賞状を手に笑顔の花桐さん、山口さん(左から)

六人が講演。特に優秀な論文と認められた十人に奨励賞が授与され、今月中旬に賞状が送付された。

花桐さんは「高専における演算増幅器の効率的学習方法に関する検討」、山口さんは「真空及び酸素雰囲気中における超ナノ微結晶ダイヤモンド薄膜の室温成長の試み」をテーマに発表。その研究内容や論文の書き方、講演の仕方などを評価された。演算増幅器は代表的なアナログ集積回路。超ナノ微結晶ダイヤモンド薄膜は通常の単結晶・多結晶ダイヤモンドに代わるものとして期待されている新材料。二人とも同講演会で発表するのは初めてだったが、「五年生の時の卒業研究発表やプレゼンを経験していたので、スムーズに発表することができました」と山口さん。花桐さんは「研究も発表も初めてで、すごく緊張しました」と話していた。

花桐詩瑞香(しずか)さん
有明工業高等専門学校
校電子情報工学科五年生



奨励賞を受賞しました。全
部で百三十人ぐらいの大
学生や高専の学生が発表
したのですが、奨励賞はそ
れをまとめました。聞いて
いただいた学会の先生た
ちからの質問も事前に準
備していた内容だったの

おむすびサロン

電子情報通信学会九州
支部の学生講演会で、講演

のなかから十人ほどに贈
られたと聞いています。私
が発表したのは、ICチップ
などの設計を学んだこ
とで落ち着いて対応できま
した。四月からは専攻科に
進みます。